



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 株式会社 カナデン 上場取引所 東
コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守屋 太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦 TEL 03-6747-8805
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	29,609	31.9	469	39.3	483	△16.3	311	△12.9
2025年3月期第1四半期	22,441	△9.2	337	△35.4	577	△25.7	358	△30.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 371百万円 (△20.6%) 2025年3月期第1四半期 467百万円 (△42.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.99	—
2025年3月期第1四半期	15.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	80,082	47,500	59.3	2,131.87
2025年3月期	89,081	47,989	53.9	2,153.80

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,500百万円 2025年3月期 47,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	31.00	—	39.00	70.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	59,000	13.9	1,900	2.9	1,900	△13.7	1,350	△8.5	60.59
通期	135,000	7.4	5,700	26.7	5,700	20.5	3,900	△1.1	175.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 1 Q	22,500,000株	2025年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 1 Q	218,700株	2025年3月期	218,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 1 Q	22,281,300株	2025年3月期 1 Q	23,454,332株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善や原材料高を製品価格に反映する動きが広がるなど堅調な企業収益を背景に、人手不足に対応するための自動化・DX化をはじめとした設備投資需要は持ち直しの動きがみられています。

一方で、中国経済の動向、欧米の通商政策の影響などによる海外経済の減速が国内景気を下押しするリスクが懸念されます。

このような状況下、当社グループは、5ヵ年中期経営計画『Electronics Solutions・Company 2025 (ES・C2025)』の最終年度として、技術力・企画力を高め、SDGsへの取り組みを通じて社会課題の解決に貢献し、持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となることを目指しております。

これらの取り組みを進める中、FAシステム事業は在庫調整の影響が継続しており、利益面で低調に推移しました。ビル設備事業及びインフラ事業は、大口案件が増加したものの利益率が低下し、利益面においては前年並みとなりました。一方、情通・デバイス事業は順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、29,609百万円（前期比7,167百万円増）となりましたが、経常利益につきましては、為替の影響により483百万円（前期比93百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、311百万円（前期比46百万円減）となりました。

セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第1四半期連結 累計期間	当第1四半期連結 累計期間	増減額
FAシステム事業	売上高	9,907	12,296	2,389
	経常利益	409	330	△79
ビル設備事業	売上高	1,809	3,413	1,604
	経常利益	△137	△141	△3
インフラ事業	売上高	4,258	6,494	2,235
	経常利益	△130	△97	32
情通・デバイス事業	売上高	6,466	7,404	938
	経常利益	221	400	178

① FAシステム事業

FA分野は、在庫調整の影響が継続し、コントローラシステムや駆動制御機器が低調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、放電加工機・レーザ加工機は案件が増加しました。

産業システム分野は、自動倉庫の大口案件があり堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては2,389百万円の増収とはなりましたが、利益率が高いFA分野が低調であったことから、経常利益は79百万円の減益となりました。

② ビル設備事業

設備機器分野は、情報・通信事業者向け電源設備案件が増加し、堅調に推移しました。

空調・冷熱機器分野は、新設案件が少なく空調機器・低温機器が苦戦しました。

その結果、当該事業としては1,604百万円の増収とはなりましたが、利益率の高い空調・冷熱分野が低調であったことから、経常利益は3百万円の減益となりました。

③ インフラ事業

交通分野は、鉄道事業者の設備投資が回復基調であり、無線通信機器・車両用機器が順調に推移しました。

社会システム分野は、官公庁案件が増加し、順調に推移しました。

その結果、当該事業としては2,235百万円の増収となり、経常利益は32百万円の増益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、画像・映像機器は前年並みに推移し、電子医療装置は案件が増加し順調に推移しました。

半導体・デバイス分野は、産業機器関連顧客向けパワーデバイスが需要減少により苦戦しましたが、電子デバイス品は、家庭用電気機器とOA機器向けが堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては938百万円の増収となり、経常利益は178百万円の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、80,802百万円（前期末比8,999百万円減）となりました。

流動資産は、62,715百万円（前期末比9,295百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が3,270百万円増加、電子記録債権が932百万円増加、前渡金が1,147百万円増加した一方で、売掛金が12,776百万円減少、未収入金が1,116百万円減少、商品及び製品が567百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、17,366百万円（前期末比296百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、のれんが53百万円減少、ソフトウェアが40百万円減少した一方で、投資有価証券が402百万円増加したことが主要な要因であります。

流動負債は、31,698百万円（前期末比8,735百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が2,219百万円増加した一方で、買掛金が9,220百万円減少、賞与引当金が622百万円減少、未払法人税等が563百万円減少、電子記録債務が370百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、882百万円（前期末比225百万円増）となりました。

純資産は、47,500百万円（前期末比488百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、その他有価証券評価差額金が221百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を311百万円計上、配当金の支払が868百万円あったことにより、利益剰余金が557百万円減少、為替換算調整勘定が158百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.3%、1株当たり純資産額は2,131円87銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績については、現時点では2025年5月16日に公表しました業績予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,723	19,993
受取手形、売掛金及び契約資産	36,663	23,795
電子記録債権	7,497	8,430
商品及び製品	8,422	7,854
原材料及び貯蔵品	6	0
その他	2,711	2,646
貸倒引当金	△14	△5
流動資産合計	72,011	62,715
固定資産		
有形固定資産	8,538	8,566
無形固定資産		
のれん	1,630	1,576
その他	1,540	1,494
無形固定資産合計	3,170	3,071
投資その他の資産		
投資有価証券	4,358	4,760
その他	1,036	1,002
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	5,361	5,729
固定資産合計	17,070	17,366
資産合計	89,081	80,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,968	18,717
電子記録債務	6,298	5,927
未払法人税等	630	67
引当金	1,007	281
その他	4,530	6,705
流動負債合計	40,434	31,698
固定負債		
引当金	26	27
退職給付に係る負債	277	285
その他	353	569
固定負債合計	657	882
負債合計	41,092	32,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,355	5,364
利益剰余金	34,688	34,130
自己株式	△312	△312
株主資本合計	45,308	44,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315	1,536
土地再評価差額金	373	373
為替換算調整勘定	955	796
退職給付に係る調整累計額	36	33
その他の包括利益累計額合計	2,681	2,741
非支配株主持分	-	-
純資産合計	47,989	47,500
負債純資産合計	89,081	80,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	22,441	29,609
売上原価	19,008	25,809
売上総利益	3,433	3,800
販売費及び一般管理費	3,095	3,330
営業利益	337	469
営業外収益		
受取利息	17	5
受取配当金	42	60
仕入割引	6	19
為替差益	170	-
その他	10	26
営業外収益合計	246	112
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	-	90
その他	1	3
営業外費用合計	6	98
経常利益	577	483
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	577	483
法人税、住民税及び事業税	43	42
法人税等調整額	173	129
法人税等合計	216	171
四半期純利益	360	311
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	358	311

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	360	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	221
為替換算調整勘定	182	△158
退職給付に係る調整額	△22	△2
その他の包括利益合計	107	59
四半期包括利益	467	371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465	371
非支配株主に係る四半期包括利益	2	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	86百万円	165百万円
のれん償却額	41百万円	53百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	F Aシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,907	1,809	4,258	6,466	22,441
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	42	1	9	76
計	9,929	1,852	4,260	6,476	22,518
セグメント利益又は 損失(△)	409	△137	△130	221	362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	362
全社費用(注)	214
四半期連結損益計算書の経常利益	577

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	F Aシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,296	3,413	6,494	7,404	29,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	12,296	3,413	6,494	7,404	29,609
セグメント利益又は 損失(△)	330	△141	△97	400	490

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	490
全社費用（注）	△7
四半期連結損益計算書の経常利益	483

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。